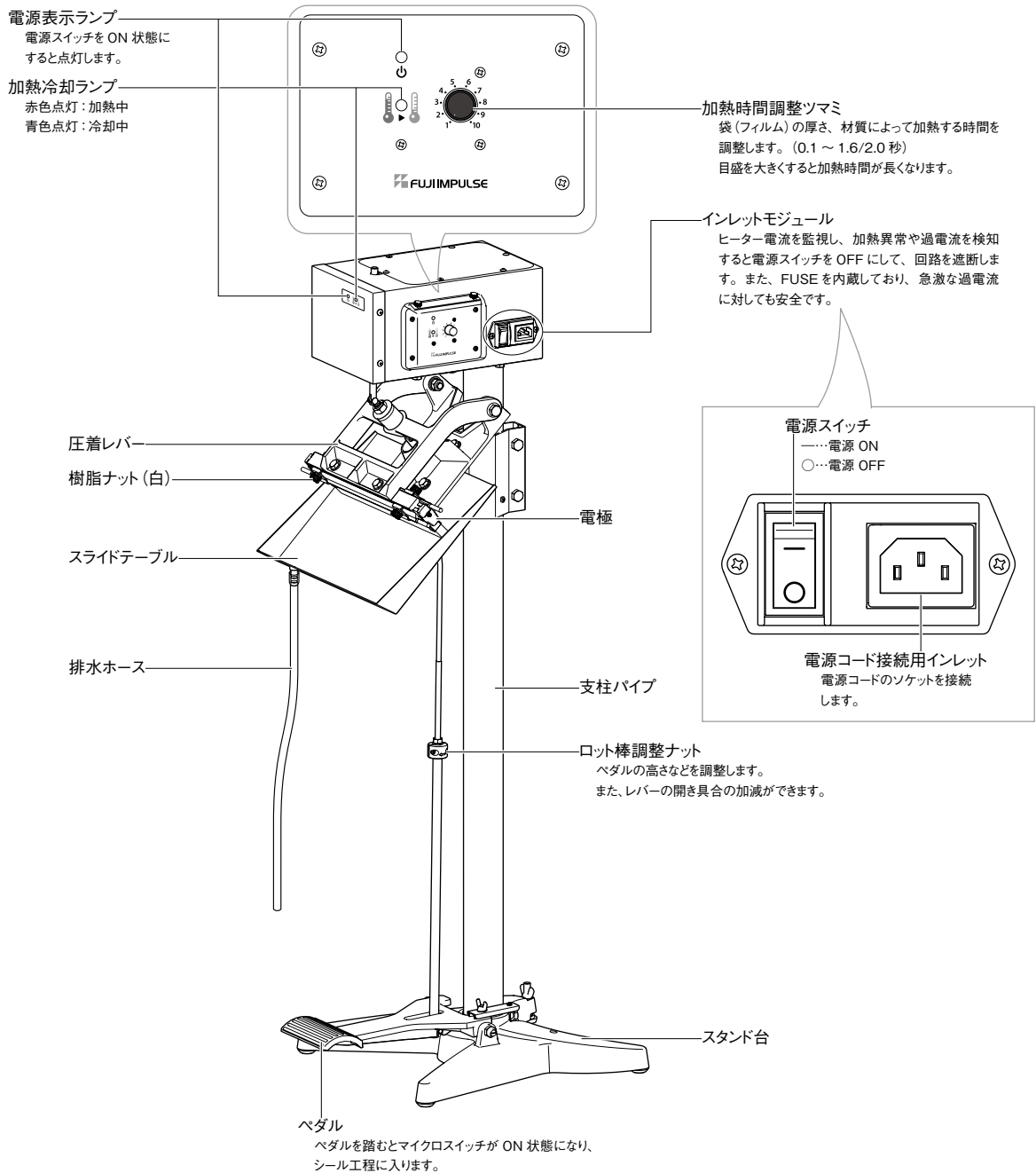
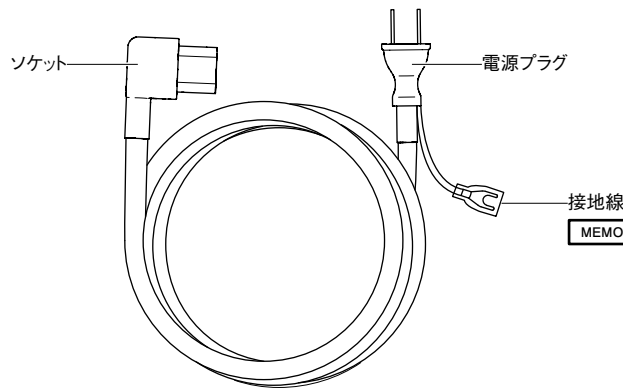


7 各部の名称とはたらき



電源コード



MEMO

本製品は、法律に基づき、内部配線の絶縁に十分配慮した製品となっているため、アース接続は不要です。ただし、湿気が多い場所や水がかかる恐れのある場所では、故障により漏電し、感電の恐れがあるため、コンセントの保護接地端子に接続してください。

8 正しい使い方

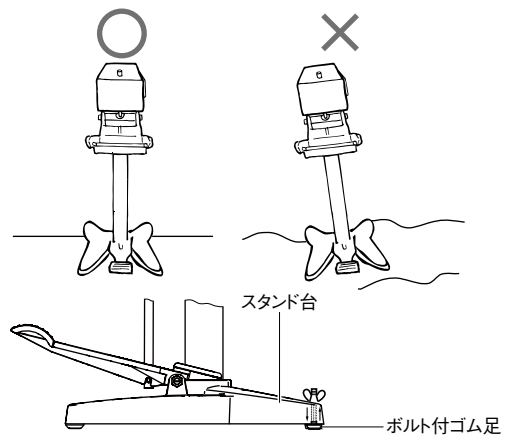
製品を使用される時は以下の『正しい使い方』をよくお読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

8-1 本体の設置

水平な面を持つ適切な床の上に設置してください。

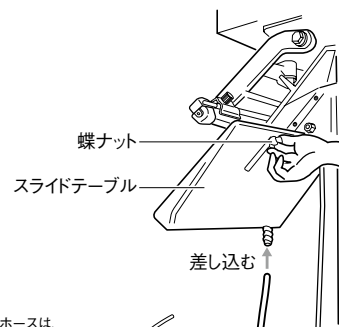
警告 水平な面を持たない床に不安定な状態で設置するとシーラーが転倒する危険性があります。

スタンド台に取り付けられているbolt付ゴム足の蝶ナットを緩めるとbolt付ゴム足の高さが調整できますので、多少の床面の高さの違いには対応できます。

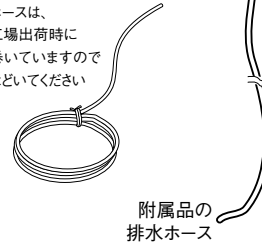


8-2 スライドテーブルの調整

スライドテーブルの裏側の蝶ナットを緩めるとテーブルの位置が調整できます。袋（フィルム）のサイズに合わせて適切な位置で固定してください。



ホースは、工場出荷時に巻いていますのでほどいてください



8-3 排水用ホースの取付

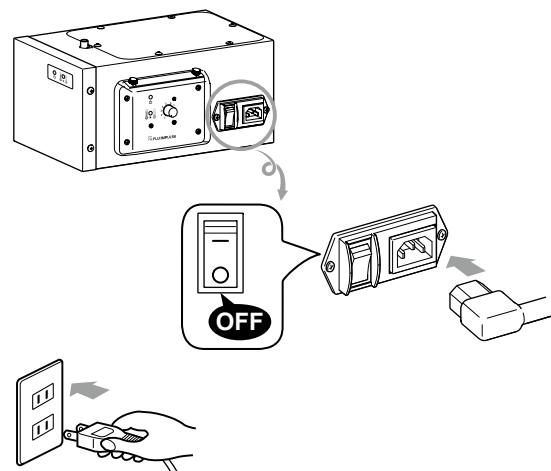
スライドテーブル下側に排水口がありますので、その先端に附属品の排水用のホースを取り付けてスライドテーブルにたまった水などが流れ出るようにホースの排水口が床面に接地するように取り付けてください。

8-4 電源コードの接続

- 1 電源コードのソケットを機械右側面の電源コード接続用インレットに接続してください。
- 2 電源コードの電源プラグを「1仕様」(→ P.5) で掲載しているお買い上げ製品の電圧・電力がとれるコンセントに確実に根元まで差し込んでください。

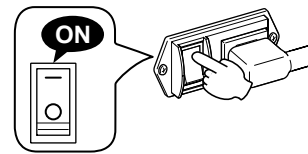
警告 電源コードは必ず附属のものを使用してください。規定の容量に合わない場合、火災などの危険があります。

注! 電源スイッチはOFFの状態、電源コードのソケット、電源プラグを接続してください。電源スイッチがONの状態、電源コードを接続すると、電源スイッチ内部の安全回路がまだ動作していないため、一旦OFFになりますが、異常ではありません。



8-5 電源スイッチ ON

機械右側面の電源スイッチを押して ON 状態にするとタイマーの電源ランプが点灯します。

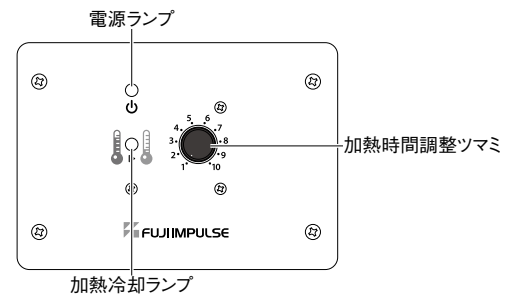


8-6 タイマーでシール条件の設定

タイマーで加熱時間を設定します。

タイマーカバーの下側を上を持ち上げると加熱時間調整ツマミを触れられるようになります。

袋(フィルム)の材質、厚さなどにより設定値が変わりますので、異なる袋(フィルム)を使用される時は、その都度設定してください。



● 加熱時間の設定

タイマー中央の加熱時間調整ツマミを回して設定します。
(目盛り 1 ~ 10 の範囲)

使用される袋(フィルム)の材質により加熱時間は異なります。

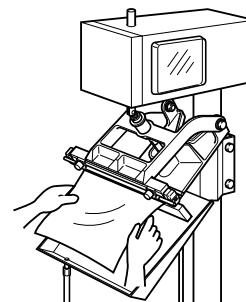
シールができる最短の時間で設定してください。作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えます。

警告 加熱目盛を大きくして、「8-8 ペダルを踏む」(→ P.14) で解説する冷却時間を取らないで連続使用すると、火災などが発生する危険性があります。

MEMO 異なる種類のヒーターへ交換した場合(組紐ヒーターからリボンヒーター、リボンヒーターから組紐ヒーターへ交換)同じ袋(フィルム)を使用されていても、加熱時間の調整が必要となる場合がありますので、シールテストを行い、必要に応じて加熱時間の調整を行ってください。

8-7 袋(フィルム)をシール部にセットする

袋(フィルム)を両手で持ちシワがなくなるように両手でピンと張りながらシール部に手でセットします。



8-8 ペダルを踏む

- 1 カチッ音とマイクロスイッチの音ができるまでペダルを踏み込んでください。加熱冷却ランプが赤色に点灯し、加熱が開始します。



注意 必要以上にペダルを踏み込むとマイクロスイッチ等の部品を損傷させる危険がありますので、無理な力を加えて踏み込まないように注意してください。

- 2 加熱が終了すると加熱冷却ランプが青色に点灯し、冷却が開始します。



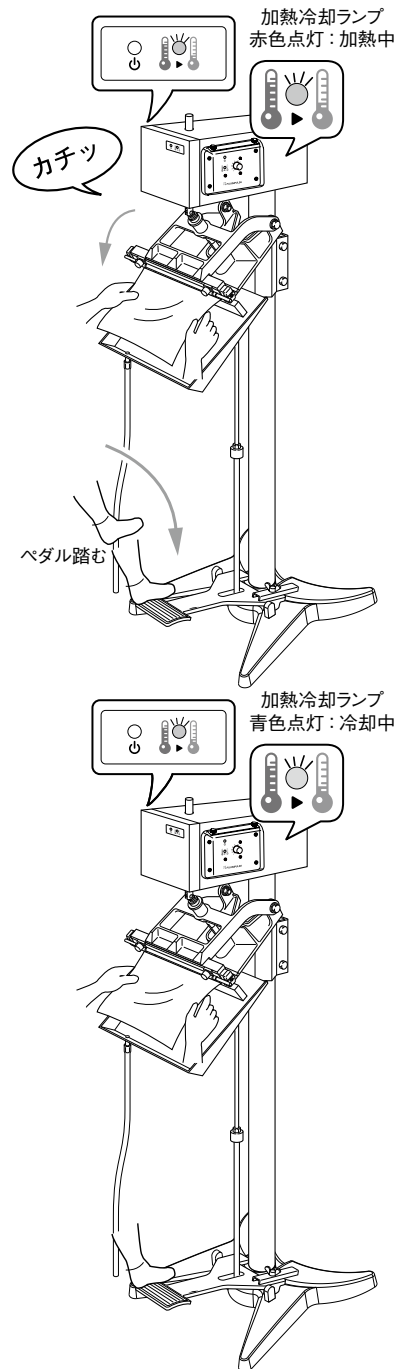
MEMO 青色の点灯時間(冷却時間)は、設定した加熱時間の3倍になります。

- 3 加熱冷却ランプの青色が消灯し、ピッとブザーが鳴ると冷却終了です。ペダルを踏むのをやめ、シール部から袋(フィルム)を取り出してください。



注! 袋(フィルム)の材質、厚さによって最適な冷却時間は異なりますので、ピッとブザーが鳴っても、ペダルを踏み続けるなどして冷却時間を調整してください。

何度かシールテストを行い、設定をより良い状態に仕上げしてから量産作業を行ってください。



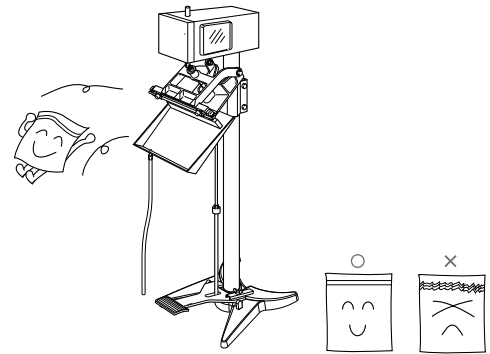
8-9 シールのできあがり

加熱・冷却終了後、ペダルを踏むのをやめ、圧着レバーを上げれば、シール完了です。

うまくシールができていない場合は再度、加熱時間設定をやり直したり、ペダルを踏み込む力の強弱を変えて、調整してください。

MEMO 組紐ヒーターを使用してシールを行った場合、シールの仕上がりには以下の様な特徴があります。

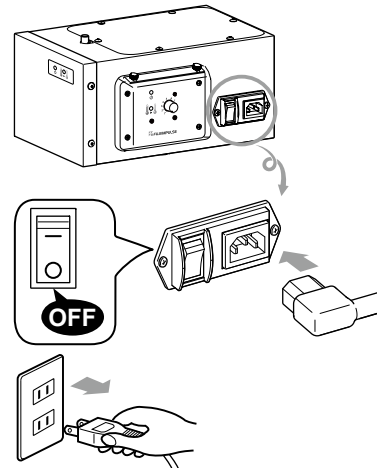
1. シール模様は組紐状の網目模様に仕上がります。
2. シールの仕上がりは製品ごと、ヒーター交換を行うごとに異なる場合があります。



8-10 電源スイッチを OFF にする

作業が終了したら、必ず電源スイッチを押して OFF 状態にしてください。

長時間使用されない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。



8-11 作業終了後の点検

作業が終了したら清掃を行い、フローガラスシートやヒーター等の部品が傷んでいないか点検を行ってください。傷んでいるようであれば、取扱説明書の消耗部品交換の方法をよくお読みいただき、交換を行ってください。

特に水物、塩分のあるものの包装に使用した後は十分に清掃を行ってください。